

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2025 年 第 194 号 令和7年6月定例会等の内容をわかりやすくお知らせします

対談!
特集記事 千葉県沿岸小型漁船
漁業協同組合 と 市議会



千葉県沿岸小型漁船漁業協同組合勝浦地区役員の皆さん

特集記事 (対談) 2・3 P
5月臨時会人事等 4 P
審議結果 (トピックス) 5～7 P
委員会活動等 8・9 P

一般質問 10～13 P
きみの未来、あなたの未来 14 P
議会のうごき 編集後記

令和7年8月
広報広聴
常任委員会
0470-73-6662

特集記事

千葉県 沿岸小型漁船 漁業協同組合 と 市議会

特集記事第40回は、千葉県沿岸小型漁船漁業協同組合の皆さんとの対談です。

その取り組みや活動について語っていただきました。



次の世代が豊かに暮らせる様に、海を守りたい。

【組織の概要について教えてください】

●千葉県沿岸小型漁船漁業協同組合（以下沿岸小型漁協）は、外房地域の御宿町、勝浦市、鴨川市の小型漁船漁業を営む漁業者によって組織された組合です。現在、十六の船団があります。各船団の抱える諸問題をまとめ、ルールを決めるのが主な役割です。また、魚種ごとに部会や協力組織を設けており、各部会はそれぞれ自主的に操業のルールを決めて操業し、漁業資源管理や漁場の維持を行っています。その他にも、資源保護に関する研究活動や各国の視

察団の受け入れ、研修などを行っています。

【具体的な活動内容を教えてください】

●キンメ部会を例に挙げると、キンメダイの資源保護のために、乱獲による資源枯渇が起きない様、昭和40年代から何度も話し合いを重ね、自主的に統一したルールを定めて資源保護に努めてきました。具体的には、操業区域を厳格に定め、操業時間は1日4時間までとし1分でも違反したら罰則があります。また、夜間操業を禁止し、使用する漁具の針数も

定めています。その他、釣り餌の制限や、浮き玉、タル流し漁法も獲れすぎるため禁止にするなど、細かくルールを定めています。

また将来にわたってキンメダイ資源を保護し、次世代の漁業者に資源を引き継ぐためにも、体長25センチ以下の小型魚の再放流を徹底し、産卵期にあたる7月から9月までの3ヶ月間を自主的に禁漁期間としています。その他、キンメダイの背中に標識を打ち、放流して生息データをとって生態調査もしています。効率の良すぎる漁業を見直し、有限の

漁業資源を守るために漁業者が話し合って協力しながら資源管理の取り組みをしています。こうした取り組みを継続してきたおかげで、資源量も安定しキンメダイの漁獲量も安定しています。体重1キロ以上のキンメダイは勝浦が北限とも言われる様になりました。

【どの様にしてルールを定めているのですか】

●操業のルールについては、漁業を持続させていくための大切なルールです。多数決で決めるのではなく、全ての船団（十六船団二百六十五隻）が納得するまで話し合い決定します。まずは船団会議で意見を吸い上げ、沿岸小型漁協で議題として検討し、各船団で話し合いを行いすべての船団が納得してからルールにしています。関係者皆で納得し、資源を次の世代に残していくことが何よりも大切と考えています。

【キンメダイについて自由操業の魚種ですか、あくまで自主的に資源管理を行うことができますか。しかしマグロの漁獲制限など国が定めるルールの枠内で行う漁業については、獲りたくても獲れない状況が続いており漁業者も苦勞しています。国際的な資源保護の取り組みを徹底したことで資源量も増えていますので、今後も資源管理を徹底しつつも、ルールの見直しを行って、漁業者の収入を上げていく取り組みや、実態に即した変更が必要と感じています。

●かつて沿岸小型漁協には八百隻の漁船が所属していましたが、現在は二百六十五隻まで減少しています。海に魚がいて、海が豊かになつて漁業で生計が建てられる様になれば漁業者も増えてくれると思います。今は苦しくても、限りある資源を次の世代に引き継いで、子供達の世代が豊かに暮らせる様に力を尽くしていきたいと考えています。

【今後の目標を教えてください】

●漁業者が豊かに暮らせる様に、魚の価値を上げるための取り組みを期待したいです。漁獲量が少なくても、1匹1匹の価値が上がれば漁業者の生活は豊かになり、漁業者になりたと思う若者も増えてくれるのでは

【勝浦市に期待することはありますか】

●資源管理の取り組みが全国だけでなく世界的にも認められ、これまでも世界各地から勝浦市にキンメダイの資源管理について研修に来ています。対談日の本日もアフリカやオセアニア、東南アジアから国際協力機構を通じて研修生が来てくれました。沿岸小型漁協の取り組みがお手本となり、世界各国に資源管理の重要性が広まる様に、そして豊かな海が次世代に引き継がれる様に、引き続き努力していきたいと思っています。

【他にPRしたいことはありますか】

●資源管理の取り組みが全国だけでなく世界的にも認められ、これまでも世界各地から勝浦市にキンメダイの資源管理について研修に来ています。対談日の本日もアフリカやオセアニア、東南アジアから国際協力機構を通じて研修生が来てくれました。沿岸小型漁協の取り組みがお手本となり、世界各国に資源管理の重要性が広まる様に、そして豊かな海が次世代に引き継がれる様に、引き続き努力していきたいと思っています。



千葉県沿岸小型漁船
漁業協同組合
酒井 光弘
代表理事組合長

議長を選出 各委員会委員を選任

令和7年5月臨時会が5月16日に開かれ、議長に戸坂健一氏を選出しました。引き続き、副議長は久我恵子氏が、監査委員は寺尾重雄氏が務めます。
また、2年の任期満了により議会運営委員、各常任委員が下表のとおり決定しました。



寺尾 重雄
監査委員

市議7期目・
無所属 73歳

議長、副議長、監査委員、議会運営委員会委員長などを歴任



久我 恵子
副議長

市議3期目・
無所属 63歳

副議長、産業厚生常任委員会委員長、同委員会副委員長などを歴任



戸坂 健一
議長

市議4期目・
無所属 48歳

副議長、総務文教常任委員会委員長、産業厚生常任委員会委員長、広報広聴常任委員会委員長などを歴任

各委員会の委員 ○副委員長

委員会名	委員長	委員名	所管事項
議会運営委員会 (7人)	 末吉 定夫	○佐藤 啓史 岩瀬 清 長田 悟 寺尾 重雄 松崎 栄二 渡辺 ヒロ子	・ 議会の運営に関する事項 ・ 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ・ 議長の諮問に関する事項
総務文教常任委員会 (8人)	 渡辺 ヒロ子	○岩瀬 琢弥 岩瀬 清 久我 恵子 佐藤 啓史 末吉 定夫 寺尾 重雄 戸坂 健一	・ 総務課、企画課、財政課、情報政策課、消防防災課、税務課、市民課及び会計課の所掌に属する事項 ・ 選挙管理委員会及び監査委員の所掌に属する事項 ・ 教育委員会の所掌に属する事項 ・ 議会事務局の所掌に属する事項 ・ 他の常任委員会の所管に属しない事項
産業厚生常任委員会 (7人)	 狩野 光一	○長田 悟 岩瀬 洋男 岩瀬 義信 鈴木 克巳 戸部 薫 松崎 栄二	・ 高齢者支援課、福祉課、こども未来応援課、生活環境課、清掃センター、都市建設課、農林水産課、観光商工課及び勝浦診療所の所掌に属する事項 ・ 農業委員会の所掌に属する事項 ・ 税務課課税係・収納係(国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料に限る。)の所掌に属する事項 ・ 市民課国保年金係・健康管理係の所掌に属する事項
広報広聴常任委員会 (7人)	 岩瀬 洋男	○戸部 薫 岩瀬 琢弥 長田 悟 狩野 光一 久我 恵子 鈴木 克巳	・ 勝浦市議会基本条例第5条に規定する議会報告会に関する事項 ・ 勝浦市議会基本条例第6条に規定する議会広報の充実に関する事項

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

令和7年5月臨時会審議結果

○5月臨時会が5月16日に開かれ、下記議案を全員賛成で承認・同意しました。

議案番号	件名	結果
議案第41号	専決処分の承認を求めることについて（一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	承認
議案第42号	専決処分の承認を求めることについて（勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について）	承認
議案第43号	勝浦市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	同意

令和7年6月定例会審議結果

○6月定例会 会期 6月3日から6月13日まで11日間

出席議員の全員が賛成した議案等

議案番号	件名	付託委員会	結果
議案第44号	工事請負契約の締結について		可決
議案第45号	勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決
議案第46号	勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決
議案第47号	勝浦市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決
議案第48号	令和7年度勝浦市一般会計補正予算	総務文教 及び 産業厚生	可決
議案第49号	損害賠償の額の決定及び和解について	産業厚生	可決
議案第50号	勝浦市と市原市との間における一般廃棄物（燃やすごみ）の焼却処理に関する事務の委託について	産業厚生	可決
議案第51号	南房総広域水道企業団の解散に関する協議について	総務文教	可決
議案第52号	南房総広域水道企業団の解散に伴う財産処分に関する協議について	総務文教	可決
議案第53号	南房総広域水道企業団の解散に伴う事務の承継並びに決算の審査及び認定の方法に関する協議について	総務文教	可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		可決
請願第1号	「国における2026年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	総務文教	採択
請願第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	総務文教	採択
発議案第4号	国における令和8年度教育予算拡充に関する意見書について		可決
発議案第5号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について		可決

議会報では、市民生活と深く関わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。
全議案については、勝浦市ホームページ 勝浦市議会サイトをご覧ください。

議案の賛否（賛否が分かれた議案のみ掲載）

議案 番号	件 名	付託 委員会	結果	1 戸部 薫	2 渡辺 ヒロ子	3 岩瀬 琢弥	4 長田 悟	5 岩瀬 清	6 鈴木 克巳	7 狩野 光一	8 久我 恵子	9 寺尾 重雄	10 戸坂 健一	11 佐藤 啓史	12 岩瀬 洋男	13 松崎 栄二	14 岩瀬 義信	15 末吉 定夫
発議案 第3号	勝浦市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可決	×	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○

「○」は賛成、「×」は反対、「—」は議長を表します。

※議長は、地方自治法の規定により採決に加わりません。

●トピックス その1

次期任期からの議員定数を14人に改正しました

6月定例会初日に、勝浦市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について、発議案第3号として条例改正案が議長に提出され、提出者からの提案理由の説明、反対討論、賛成討論を経て採決の結果、発議案第3号について、賛成多数（12人）で可決（詳細は上記賛否表参照）いたしました。

これにより市議会議員の定数は現在の15人から14人に改正され、次期一般選挙より適用されます。

◎【可決】発議案第3号 議員定数「15人」を「14人」に改める。

提出者 岩瀬 洋男

賛成者 長田 悟、狩野 光一、末吉 定夫、渡辺 ヒロ子

○提案理由要旨（岩瀬 洋男 議員）

令和5年の市議会議員一般選挙後に設置された議会改革検討委員会にて全国同規模自治体の状況や近隣自治体の状況などを参考に慎重に議論を重ねた結果、勝浦市議会議員の定数を次回の一般選挙から、現在の15名を1名削減し、14名にする条例改正案について発議案として提案する。

○討論

・反対討論要旨（戸部 薫 議員）

議員の果たすべき役割を自覚するほど、慎重な判断をしなければいけない。また、女性や若い方々が議会に進出しやすい定数があるべきである。

・賛成討論要旨（長田 悟 議員）

検討委員会での方向性、過去より議員の定数の変更が大きく影響している人口減少の進行や、前回の一般選挙が無投票であったことなどを考慮すれば、次回選挙における定数は1名削減して、14名で選挙することが望ましいと考える。

・反対討論要旨（寺尾 重雄 議員）

勝浦市が過疎指定を受け、消滅可能性が心配されると同時に、物価高による厳しい経済状況の中で市民が生活する状況において定数削減は必成であり、市民の声を代弁して削減数については2名減を提案する。

・賛成討論要旨（佐藤 啓史 議員）

議会改革検討委員会にて2名削減、現状維持といった様々な意見があった中で、結果を出すことが委員会の責任という考えの下において任期中にまとめあげた結論に賛成いただきたい。

●トピックス その2

勝浦市と市原市との間における一般廃棄物（燃やすごみ）の焼却処理に関する事務の委託に関する規約の締結

平成10年から夷隅郡市2市2町の広域ごみ処理施設の整備に取り組んできましたが、結果としてこの計画は令和2年に断念せざるを得なくなり、その後の2市2町の首長の協議により、新たなごみ処理場整備を計画している市原市へ可燃ごみの処理を委託することの申し入れを行い、その後、市原市との協議が整ったことから、今後のごみ処理に関する事務を市原市に委託することに関する規約の締結を承認いたしました。

市原市のごみ焼却施設は、令和14年度を目標に建設されることとなっています。

●トピックス その3

令和8年度の小学校統合に伴う放課後ルーム開設に係る空調設備設置経費1,740万9千円を可決 (放課後児童健全育成事業)

令和8年度の小学校統合に伴う上野小学校及び勝浦小学校の児童の放課後ルーム利用定員超過への対策として、学校の放課後の空き教室を活用したタイムシェア方式により、両校内の特別教室に空調設備を設置し、新たな放課後ルームが開設されます。

上野小学校 エアコン1基 図書室

勝浦小学校 エアコン2基 家庭科室、図画工作室

これにより、令和8年度の放課後ルームは、上野小学校2施設（上野集会所内、図書室）、勝浦小学校3施設（旧こども館内、家庭科室、図画工作室）と、学校との協議や保護者からの意見を踏まえ、令和8年度は引き続き総野小学校1施設を開設し、合計6施設で実施する予定です。

なお、実施場所の変更の改善策として、30分程度の開設時間延長も検討しています。

各常任委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

- ・ 議案第 4 5 号 勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第 4 8 号 令和 7 年度勝浦市一般会計補正予算（所管事項関係）
- ・ 議案第 5 1 号 南房総広域水道企業団の解散に関する協議について
- ・ 議案第 5 2 号 南房総広域水道企業団の解散に伴う財産処分に関する協議について
- ・ 議案第 5 3 号 南房総広域水道企業団の解散に伴う事務の継承並びに決算の審査及び認定の方法に関する協議について
- ・ 請願第 1 号 「国における 2 0 2 6 年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願
- ・ 請願第 2 号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

総務文教常任委員会には議案 5 件、請願 2 件が付託され、6 月 1 0 日に委員会を開催し審査を行いました。付託された議案 5 件は質疑を経て、全員賛成で可決しました。そして、付託された請願 2 件については全会一致で採択となりました。

この審査結果を 6 月 1 3 日の本会議で委員長が報告しました。

産業厚生常任委員会

- ・ 議案第 4 6 号 勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第 4 7 号 勝浦市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第 4 8 号 令和 7 年度勝浦市一般会計補正予算（所管事項関係）
- ・ 議案第 4 9 号 損害賠償の額の決定及び和解について
- ・ 議案第 5 0 号 勝浦市と市原市との間における一般廃棄物（燃やすごみ）の焼却処理に関する事務の委託について
- ・ 陳情第 6 号 勝浦ベシアの信号から市役所までと武道大学から警察署経由で市役所までの歩道の新設を求める陳情

産業厚生常任委員会には議案 5 件、陳情 1 件が付託され、6 月 1 1 日に委員会を開催し審査を行いました。付託された議案 5 件は質疑を経て、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決定しました。また、付託された陳情第 6 号は審査を行った結果、採択 3 名、不採択 3 名で採否同数となりました。よって、勝浦市議会委員会条例第 1 4 条第 1 項の規定により委員長の決するところとなり、不採択と決しました。

この審査結果を 6 月 1 3 日の本会議で委員長が報告しました。

議会改革検討委員会を設置しました

平成21年から全員協議会において議会改革検討委員会の設置を決定し、様々な市議会改革の項目について、検討に取り組み、改革を行ってきました。

6月9日に開催された全員協議会において、今期の委員会設置を決定しました。この決定に基づき、7月4日に第1回の委員会を開催し、委員長、副委員長を選出しました。

委員長、副委員長及び委員は次のとおりです。

委員長	副委員長	委 員
松崎 栄二	岩瀬 清	岩瀬 琢弥・長田 悟・狩野 光一・ 久我 恵子・渡辺 ヒロ子

永年在職議員表彰

第101回全国市議会議長会定期総会において表彰された議員に対し、6月3日の本会議前に表彰状の伝達式を行いました。

30年在職特別表彰 岩瀬 義信 議員
末吉 定夫 議員
10年在職表彰 久我 恵子 議員



岩瀬 義信 議員
(30年在職特別表彰)



末吉 定夫 議員
(30年在職特別表彰)



久我 恵子 議員
(10年在職表彰)

市政のことが聞きたい

一般質問



6月5日・6日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

6月5日			6月6日		
渡辺ヒロ子議員	①介護の現状と高齢者の移動手段の確保について		鈴木克己議員	①国道297号松野バイパスの事業進捗状況について	
岩瀬琢弥議員	①勝浦市のインフレ型社会への適応策について		岩瀬清議員	①勝浦市のごみ処理について	
長田悟議員	①本市米農家支援策等について			②ふるさと応援寄附金について	
佐藤啓史議員	①道路整備及び道路環境整備について			③来年度統合される小学校の跡地利用について	
	②教育課題について			①本市の「非核平和宣言」にのっとった事業の推進について	
	③屋外広告物条例について			②物価高騰対策の一環としての市営住宅の提供拡大を求める市民の声・要望について	

一般質問の記事は、発言議員本人が要約したものです。また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。(各議員のQRコードを掲載しています。)



渡辺ヒロ子議員

高齢者の介護と移動支援について

Q 勝浦市の介護サービスの現状と市独自の支援策は。

A 要介護認定率は18.8%。施設利用率は県平均より高い。非課税世帯に対し訪問系サービスの自己負担額の3割を助成する制度を実施している。

Q 高齢者の移動手段の現状と課題認識は。

A 主な移動手段は自家用車(51.2%)。デマンドタクシーや「ノッカルかつら」の実証運行を通じて対応を進めている。

Q デマンドタクシーの現状と今後の拡充は。

A 月々土曜に3台体制・1日6便で運行。R6年に1台増・エリア拡大を行った。利便性向上、乗降場所や時間の見直しを検討中。



Q 市民の声に寄り添ったサービスへの進化を期待するが、今後の展望は。

A 「便数の増加」「日曜運行」「乗降場所の増加」など意見を参考に利便性向上と運行内容の改善を検討していく。

Q タクシー利用料助成制度の現状と地域差は。

A 市全体の利用率は17.67%。勝浦地区は24%超、上野・総野地区は8%以下。

Q 利用率が低く街中から遠い地区ほど移動支援の充実が必要と考えるが。

A 周知不足や使いづらさの改善など、市民の声をもとに制度改善を検討していく。

Q 介護事業所の廃止が相次いだが市の支援策は。

A 国の交付金を活用し、事業所に物価高騰対策の給付金支給。人材定着のため、初任者・実務者研修助成制度も新設・拡充。

Q 元氣な高齢者の活躍も介護施策の一環として考えてみてはどうか。

A 介護の分野でも高齢者の力を活かす視点は重要。介護予防強化、社会福祉協議会等と連携により、活動の充実を支援。

Q 市長の「安心して暮らせるまちづくり」への考えは。

A 生きがいづくり、生活支援の充実、包括的支援体制、介護サービス拡充を柱に施策を推進。

高齢者が自立し安心できるまちづくりを目指す。





岩瀬琢弥議員

物価高対策とインフレ 社会への適応について



Q 今後の支援策の方針について伺います。

Q 勝浦市での物価高対策の支援事業と国や県との連携について伺います。

A 勝浦市物価高騰対応臨時特別給付金給付事業、飼肥料等価格高騰対策支援事業、漁業用燃油価格高騰対策支援事業、水産加工施設等電気料高騰支援事業、介護サービス事業所物価高騰対策支援事業、プレミアム付商品券事業、観光誘客促進事業、学校給食費の物価高騰対策などを実施いたします。

また、国による視点からの金融政策や財政政策に注視しながらより身近で効果的な支援を実施してまいりたいと考えます。

Q 現在の物価高騰対策の財源の大半は国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金です。今後は、国の経済対策の動向と連動しながら有効な支援策をと考えております。

Q 物価高騰への対応では物価上昇率を賃金の上昇率が上回っていくことが理想ですが、賃上げに対してサポートしていくことについて伺います。

A 中小企業をはじめとする小規模事業者におきましては物価高騰のペースと賃上げ上昇のペースとは隔たりがございます。家計への負担感も大きなものであると考えております。様々な施策と

併せて研究をしてまいりたいと考えております。

Q 公共事業を請け負う事業者についても資材調達の面で苦労することになります。インフレスライド条項の取組について伺います。

A 平成26年に建設工事請負契約書第26条第6項、インフレスライドの運用に関する手引を定めインフレスライド条項の運用を行っております。

Q 公的価格も継続的に修正していく必要がありすが市のお考えを伺います。

A 公共事業において最新の実勢価格を適切に反映できるよう努めております。

Q おにぎりを朝昼晩2個ずつ市民が食すると仮定した場合、令和12年には269日分しか生産されない本市の状況について伺います。

A 本市の米生産が減少していることは残念ながら事実であります。



長田 悟議員

本市の米農家支援策について



Q 数字で見る勝浦市の数値から20年で人口は72・8％に、農家数は35・8％に減少している。この状況から市のお考えを伺います。

A 少子化と高齢化の同時進行と都市部への人口流出に加え、これらによる後継者不足により農家数の減少が生じているものと考えております。

Q おにぎりを朝昼晩2個ずつ市民が食すると仮定した場合、令和12年には269日分しか生産されない本市の状況について伺います。

A 本市の米生産が減少していることは残念ながら事実であります。

Q 人口減少速度より農

人口減少そのものによる影響、国の減反政策、食生活の変化による米需要の減少等、様々な要因があると考えております。

Q 名木・木戸、大森、大楠地区3地区の基盤整備終了面積を考慮した本市の基盤整備状況について伺います。

A 全体で345・4haで平成17年経営耕地での割合は78・07％になります。

Q 基盤整備された圃場が全部耕作されたとすれば基本計画の目標値に達するが、再整備の補助はあるのか伺います。

A 一例を申し上げますと、農地耕作条件改善事業があり、事業実施主体は、市、土地改良区等となります。

Q 人口減少速度より農

家数、経営農地の減少速度を鈍化させるため、現在進められている3地区の土地改良事業の早期完成、土地改良圃場の再整備、集落営農体制の推進及び共同利用農機具購入等の補助など有効な施策の展開について伺います。

A 3地区の土地改良事業について、完成時まで集落営農体制が整備できるような話し合いを進めております。今後、3地区を含めた市全体の農機具購入補助等の市独自支援策については、認定農業者や営農組合・集落営農組織を念頭に、土地改良事業や地域計画における目標地図の進捗状況を見極めながら、改めて検討したいと考えております。

Q 人口減少速度より農





佐藤啓史議員

道路整備と道路環境整備について

(※国・県道に関する質問は夷隅土木事務所からの回答)

Q 国道297号線について

①松野バイパスの整備進捗状況と今後の見通しは？②新戸地先の狭隘箇所

A ①1工区である白井久保・松野間の夷隅川に

架かる橋梁の下部工事と芳賀地先の工事用道路の工事を進めている。工区内の約7割の用地を取得している。②狭隘部の解消に取り組んでいく。

Q 県道上布施勝浦線の道路改良を求める

A 道路改良の予定はない。必要に応じて交通安全対策を行う。

Q 国県道の除草を求める

A 年2回実施している。道路パトロールや地



域の要望を踏まえ、交通に影響のある箇所を優先して除草を行っている。

Q 国道128号、串浜から松部に至る海岸堤防の

堤防アートの提案をする。A 前向きに検討する。

Q 道路里親制度の実績と導入効果をお聞きます。

A 令和6年度の実績は、里親に関する合意書の締結が22件、補助金の申請が21件である。

教育課題について

Q 学校体育館のエアコン設置について要望する。

A 国の交付金の対象が令和15年度までであることから、それを目途に、エアコンの設置について検討したい。

Q 部活動の地域移行について、これまでの取組

と今後の見通しについて

お聞きします。

A 勝浦市部活動地域移行

行検討委員会での協議等、本市の実情に応じた部活動の地域移行の在り方について検討している。

Q 食育推進事業への取組についてお聞きます。

A 食習慣や食文化、栄養や健康に関する食育を進めていきたい。

屋外広告物条例について

Q まちのブランディングとイメージアップにつながる屋外広告物条例の制定を提案する。

A 条例の制定については、近隣市町の状況も踏まえ、検討したい。



ペイントが剥がれた串浜の海岸堤防



鈴木克巳議員

国道297号松野バイパスの事業進捗状況

Q 現在工事中の白井久保から松野までの第二工

区の工事進捗状況と、開通見込み時期について伺います。

A 工事は、夷隅川に架かる橋梁の下部工事と、芳賀地先の工事用道路の工事を進めているとのこと。開通の見込みは、用地の取得が完了していないため、示せないとのこと。

市道の道路基盤整備及び道路環境の整備

Q 市道勝浦荒川線(串浜〜荒川)は、上野地区と市街地を結ぶ重要な一級幹線市道ですが、路面の劣化など道路状況は非



情に悪いため、トンネル

の撤去も想定した道路の大規模な改修が必要であると思うが、全体的な対応について伺います。

A 本路線内にあるトンネルを撤去し、路線の形状を変えることにより、

飛躍的に安全性が向上すると考えますが、工事費が莫大であり、早急な対応は困難なため、将来的な計画も踏まえ、まずは

既存トンネルの安全を確保し、損傷が確認された場合は修繕による対応をしてまいります。

Q 市道墨名部原線の市

役所入口交差点から日本武道館研修センター間(写真)は、歩道が無く曲線で危険性が大きいため、歩道設置等の改良計画について伺います。



市役所入口道路

A 定期的な草刈りを実施し、安全を図ります。道路改良は、待避所や張り出し歩道も視野に入れ、検討します。

Q キュステから武道大

学への道路整備は、平成27年の質問後に、側溝の一部に蓋掛けをしたのみです。今後の対応を伺います。

A 平成28年に一部側溝蓋かけを行い、歩道部を確保した。今後、全体的に蓋かけを行い、安全を図ります。

その他、市道全体の問題として、覆いかぶさる木枝に対しては、計画的に除去するとの答弁がありました。



岩瀬 清議員

勝浦市のごみ処理について

Q 勝浦市のごみ処理量は、年間どれ程の量が排出され処理されているのか、その量の推移はどうであるか、今後、新広域ごみ処理施設稼働までにどの様なごみ対策を検討していくのか伺います。

A 年間のごみ処理量は、令和6年度5,737トンで、ごみ処理量は年によってばらつきがあるものの、減少傾向にあります。新たな一般廃棄物処理施設については、令和14年度の供用開始を目指して、ごみの発生抑制に重点を置いた施策の展開が必要なことから、新たな取組について研究、検討を進めていきます。



ふるさと応援寄附金について

Q 前年度の寄附金実績を伺います。前年度寄附受け増に向けた取組みはされたのか、今年度はどのような取組をされるのか伺います。

A 令和6年度の寄附金額は約16億6,588万円となっています。寄附増額に向けた前年度の取組は、既存の返礼品のブラッシュアップを図り、新たな返礼品提供事業者及び返礼品の開拓、寄附ポータルサイトの拡充や管理・運営中間事業者の見直しなどに取り組んでまいりました。今年度、新たな取組として、ふるさと勝浦市わがまち応援寄附制度の運営を図ってまいります。

来年度統廃合される小学校の跡地利用について

Q 統廃合の構想から1年以上が経過したが、その後の進展と廃校となる3校の放課後ルームや、夜間の体育館利用をどの様に対処していくのか伺います。

A 今後、市としての考えを取りまとめた上で、地域の皆様のお考えを拝聴しそれを尊重しながら、調整を図り、活用の方角を決定してまいりたいと考えます。次に、豊浜小学校と興津小学校で運営している放課後ルームは統合先を利用していただき、総野小学校は令和8年度は引き続き運営する考えです。夜間の体育館利用は継続します。



総野小学校



戸部 薫議員

本市の「非核平和宣言」にのっとった事業の推進について

Q 日本原水爆被害者団体協議会が、昨年ノーベル平和賞を受賞しました。このことについて市長の見解を伺います。

A 長年にわたり核兵器の廃絶を訴え続けたことにより、核兵器のない世界に向けた国際社会の取組に寄与したものととして、昨年12月にノーベル平和賞を授賞されたものと認識しており、大変すばらしいことだと考えます。

Q 自治体や地域においても平和を守る取組の強化が求められています。本市の「非核平和宣言」にのっとった今後の事業計画の概要を伺います。



A 本市は、昭和62年9月に、非核三原則の実施と世界のあらゆる核兵器の廃絶と恒久平和を願う、非核平和都市宣言を定めています。以来、平和関連事業として、ビデオ上映や原爆に関するパネル展、戦時下の資料公開など多様な形式で勝浦市平和展を開催しています。今後も勝浦市平和展の開催を通して、恒久平和への取り組みを推進して参りたいと考えます。

物価高騰対策の一環として、市営住宅の提供・拡大を求める

Q 物価高騰が長引き、働く人たちの賃金も、年金も目減りが続いています。家計のやり繰りは大変です。こうした時に、市営住宅に入りたいとの声が届いています。市営住宅の提供拡大を求める市民の声、要望について市長の見解を伺います。

A 令和4年3月に策定した勝浦市市営住宅長寿命化計画において、耐用年数に至った市営住宅は、建て替えは行わず用途廃止とし、それに見合う戸数を、民間住宅活用での家賃補助制度を中心とした住宅支援としており、現在は、旭ヶ丘団地の新耐震基準の戸建て住宅以外では入居募集は行っておりません。したがって、市営住宅の新設及び提供拡大は考えていません。



きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 2年
加藤 雫さん

「素敵な笑顔にさせたい。」

私の将来の夢はウェディングプランナーになることです。小学生の頃、参加した結婚式で、新郎新婦の笑顔に出会い、自分も素敵な結婚式に関わる仕事がしたいと思ったことがきっかけです。

なるために必要な資格はありませんが、接客業のため語学力が大事になります。そのために、コミュニケーションの力を高めるとともに、英語検定を受けるなどしてスキルを高めていきたいと考えています。少しずつ努力を重ねて、多くの人を笑顔にしたいと思っています。

議会のうごきについて報告します (令和7年5月～令和7年7月)

議会のうごき

5月 13日	議会運営委員会・全員協議会 国民健康保険事業の運営に関する協議会	13日	本会議 最終日 広報広聴常任委員会 シルバー人材センター定時総会
16日	5月臨時会		
19日	千葉県自治体病院経営都市議会協議会役員会及び総会（千葉市）	27日	広報広聴常任委員会（対談）
20日	全国市議会議長会定期総会（東京都）	7月 4日	議会改革検討委員会
22日	市政懇談会	7日	勝浦観光協会海鎮祭
23日	千葉県南部地区議会道路整備協議会総会（オンライン）	10日	社会を明るくする運動夷隅地区大会（いすみ市）
28日	千葉県南市議会議長会総会（館山市）	20日	外房線と地域を守る会定期総会
29日	議会運営委員会	22日	広報広聴常任委員会
6月 3日	本会議	24日	民生委員推薦会
5日	本会議 一般質問	28日	南房総広域水道企業団運営協議会（大多喜町）
6日	本会議 一般質問	30日	防犯組合総会
9日	本会議 質疑・全員協議会		いすみ鉄道対策協議会総会（大多喜町）
10日	総務文教常任委員会	31日	国民健康保険事業の運営に関する協議会
11日	産業厚生常任委員会		

編集後記

「みんなのギカイ」は今回の特集記事で対談させていただいた千葉県沿岸小型漁船漁協の皆さんや、勝浦中学校の生徒さんなど多くの方々の協力をいただいて作られています。

議員の改選から2年が経過し、今回から委員会のメンバーも新しくなりました。

読みやすい紙面にこだわり、多くの皆さんに読んでいただけるよう新メンバー共々努力してまいります。

広報広聴常任委員会委員長 岩瀬洋男

お問い合わせは、勝浦市広報広聴常任委員会（73-6662）まで

勝浦市ホームページ 勝浦市議会サイト

<https://www.city.katsuura.lg.jp/site/gikai/>



QRコードは
ここだよ！

勝浦カッピー

